

平成28年度御殿場市環境マネジメントシステム 取組結果報告書

御殿場市では、平成21年度から御殿場市環境マネジメントシステム（EMS）を制定・運用し、環境推進活動を実施しています。

本システムは、市のすべての施設・組織・職員を対象として、事務及び事業活動に伴う環境の向上及び環境への負荷を継続的に低減するものです。

○平成28年度実績

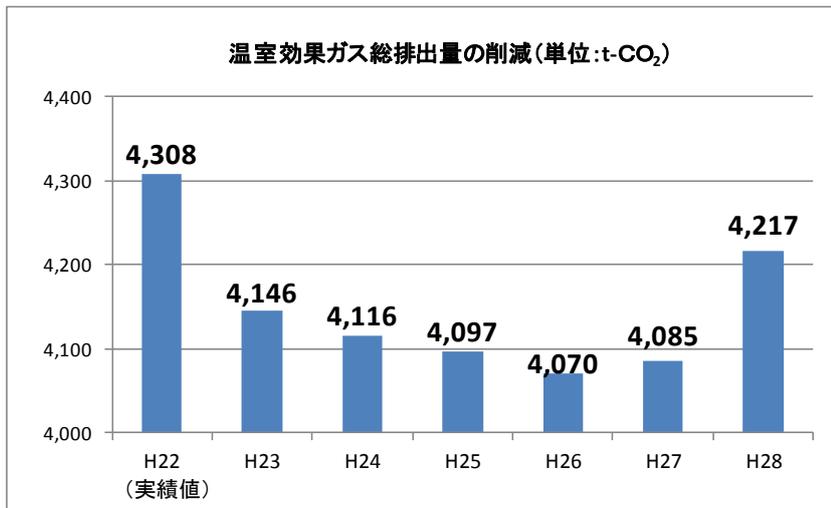
環境の向上及び環境負荷の低減に関する取組項目		目標値	平成27年度実績値	平成28年度実績値	
省エネルギー・省資源の推進	温室効果ガス総排出量の削減	排出量(t) (基準年度[H22]比) ※平成22年度実績4,308t	平成28年度までに 4093.0t (△5.0%)	4,085t	4,217t (△2.1%)
	電気及びその他の燃料(A重油、灯油、都市ガス、LPG、ガソリン、軽油)使用量の削減	排出量(t) (基準年度[H22]比) ※平成22年度実績4,046t	平成28年度までに 3,844.0t (△5.0%)	3,807t	3,945t (△2.5%)
	公用車燃料使用量の削減(走行距離を含む)	排出量(t) (基準年度[H22]比) ※平成22年度実績262t	平成28年度までに 249.0t (△5.0%)	277t	272t (3.5%)
	紙使用量の削減	紙使用量(kg)	平成28年度までに 103,962kg以下 (基準年度[H22])	102,150kg	102,786kg (△1.1%)
	水使用量の削減	水使用量(m ³)	平成28年度までに 169,080m ³ 以下 (基準年度[H22])	143,534m ³	143,890m ³ (△14.9%)
廃棄物の減量化・リサイクルの推進	可燃ごみ排出量の削減	排出量(kg) (基準年度[H22]比) ※平成22年度実績 132,465kg	平成28年度までに 125,842kg (△5.0%)	131,755kg	151,002kg (14.0%)
	グリーン購入の推進	環境負荷ができるだけ少ない製品やサービスを優先的に購入	適合率70%以上	76.2%	75.5%

環境マネジメントシステムの取組項目を、電気使用量、公用車燃料使用量、暖房等に利用するその他燃料使用量からなる「温室効果ガス総排出量」、「紙使用量の削減」、「水使用量の削減」、「可燃ごみ排出量の削減」及び「グリーン購入の推進」とし、それぞれ削減目標等を設定しています。

公用車燃料使用量（基準年度より3.5%増）、可燃ごみ排出量（基準年度より14.0%減）は、削減に向け一層の取り組みが必要となります。

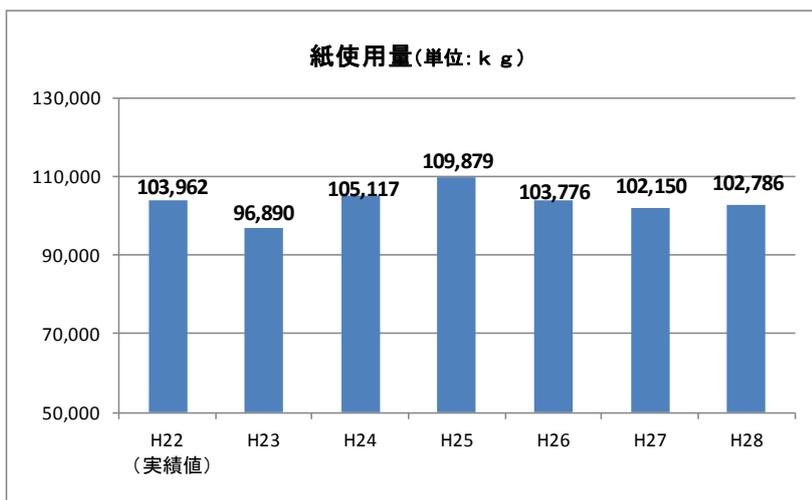
1 省エネルギー・省資源の推進

(1) 温室効果ガス総排出量の削減



温室効果ガス総排出量は、前年度と比較すると132t-CO₂(3.2%)増加したが、基準年度(平成22年度)と比較すると91t-CO₂(5.2%)、削減しつつも、取組目標を超過した。

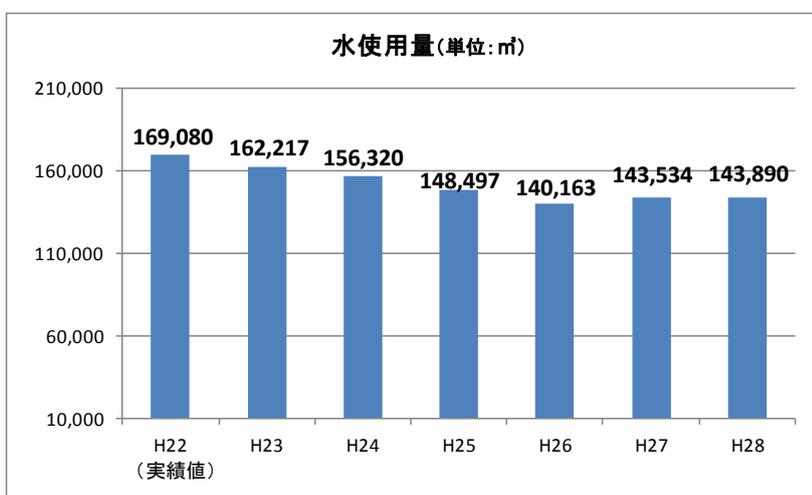
(2) 紙使用量の削減



紙使用量は、前年度と比較すると636kg(0.6%)増加したが、基準年度(平成22年度)と比較すると、1,176kg(1.1%)削減した。

各部署において、文書の電子化や両面印刷の励行、発行部数の見直し等の積極的な取り組みにより削減が図られた。

(3) 水使用量の削減

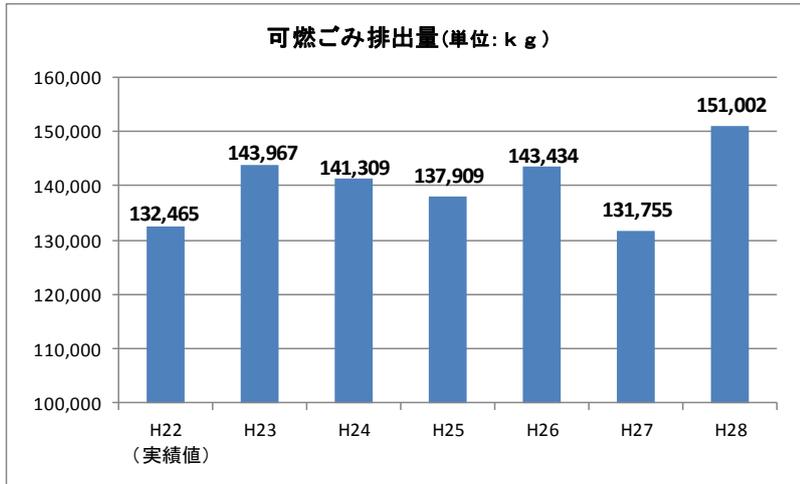


水使用量は、前年度比では356m³(0.2%)増加したが、基準年(平成22年度)と比較すると25,190m³(14.9%)削減した。

節水・漏水対策等の積極的な取り組みにより全体での使用量の削減が図られている。

2 廃棄物の減量化・リサイクルの推進

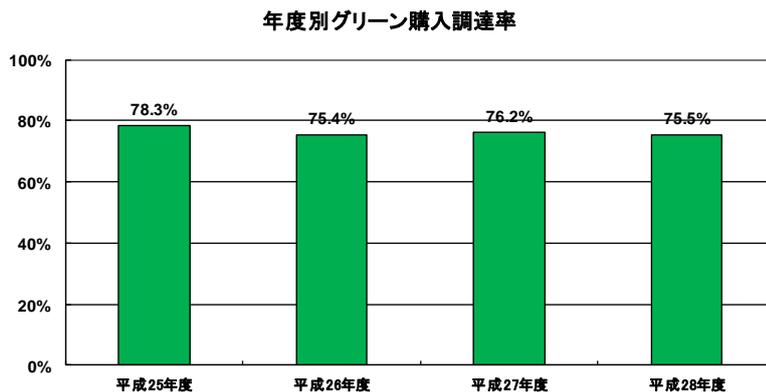
可燃ごみ排出量の削減



可燃ごみ排出量は、基準年(平成22年度)比で18,537kg(14.0%)、前年度比では19,247kg(14.6%)の増加となった。

平成27年度からごみの分別方法が変更し、資源化しやすいシステムになった。東館引越しの際にでたごみの影響があり目標値を超過した。今後も更なる資源化徹底についての指導を継続する。

3. グリーン購入の推進



適合品調達率 75.5%、非適合品調達率 24.5%となり、目標値である適合率 70%を達成しています。